



図書館と僕

今泉 昌一

書店の跡取りとしてこの世に生を受け、物心ついた時から本に囲まれて育った。大学を終わって弘前に帰ってからは、生家の書店経営に携わった。その当時は、図書館というものは、本を納品する先であって、自分が利用する場所ではなかった。何しろ、おそらく新刊やベストセラーに限っては、図書館と遜色のない在庫があったし、装備等が要らない分、店頭（書架）に並ぶのも早かったからだ。

だから、僕が図書館のユーザーになったのは、経営に失敗して書店を閉めてからだ。が、通い始めてみると、これが存外に面白い。

何と言っても、書店店頭には、当時年間7万点とも8万点ともいう新刊が送られてきて、それらに押し出されるように、それと同数程度の本が消えていく。それに比べ

れば図書館では本の寿命が長い。数年前に発行されたものでも並んでいる。

それに、書店で購入した本は、いつでも読めるという安心感からか、読まずに積まれていくことがままある。ところが図書館から借りてきた本は、返却期限までに読み終えなければならぬ。いきおい読書が進む。そんな理由で、50歳代、60歳代の頃は、随分と利用をさせていただいた。

3年前まで市議会議員を務めさせていただいていたが、その時のテーマの一つも「図書館」だった。各地の先進的な図書館も視察させていただいた。その上で、開館日数のこと、移動図書館車のこと、図書予算のこと等々、様々な視点で、図書館の充実を訴えてきた。指定管理者制度を導入する時には、所管する常任委員長として、審査の舵取り役を担わせてもらった。

と振り返れば、僕のこれまでの人生には、常に傍に本があった。いい面も、有り余る悪い面も、僕と言う人間は読書から形作られているといっても過言ではない。

本の世界には森羅万象が記録されている。あらゆるシチュエーションの喜怒哀楽が描かれている。そのような読書の魅力を伝えること、活字文化を守り育てることが、僕のライフワークではないかと勝手に思っている。図書館とは比べるべくもないが、現在、弘前読書人倶楽部という私設図書室を運営しているのも、そういった使命感からかもしれない。

図書館はその街の文化のバロメーターだとも言われている。蔵書の数や質もさるこ



「弘前読書人倶楽部」の看板前に立つ筆者

とながら、多くの市民に愛される図書館があるかないかが重要な指標ではないかと思う。その意味でも、もっともっとたくさんの人に図書館へ出かけてもらいたい。僕は図書館を利用する人が増えることを、心の底から願っている。

そんな話をしている僕自身が、実は最近図書館から遠ざかっている。視力と集中力の低下で、活字を追うのに苦労をするようになったからだ。いやいやこはもう一踏ん張り。老体に鞭を打って、もう一度図書館通いを始めてみるか。

（弘前読書人倶楽部代表・弘前ペンクラブ会長）



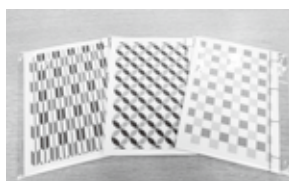
イベント実施報告 5月～8月

〈全館合同〉8月1日～8月31日

4館スタンプラリー

弘前市立図書館4館を制覇しよう！

例年開催している4館スタンプラリーは、今年で10回目を迎えました。今年の全館制覇の景品は、スタッフ手作りの和綴じミニノートです。イベント開始前から注目してくださった方もいて、今年も初日から多くの方がスタンプラリーにご参加くださいました。このイベントを機に、今後も4館に足を運んでいただけますと幸いです。



景品の和綴じミニノート

〈弘前図書館〉5月16日

手作り絵本講習会

世界に1冊の自分だけの絵本が出来ました！



講師のささやすゆき先生

今年も絵本作家ささやすゆき先生を講師に迎え、手作り絵本講習会を開催しました。初めは少し緊張気味な子どもたちでしたが、絵本作りが始まると、さ先生に相談しながら絵本の内容を考え、下書き、色塗り、文章の書き込みなど、時間いっぱい

い悩みながら、世界に1冊の特別な絵本を完成させることができました。

この経験が参加したご家族の素敵な思い出になりますように！

〈弘前図書館〉7月4日

調べる学習特別講座in弘前図書館

自分のふしぎを本で調べてみよう

「調べる学習コンクール」に関する講座を、小学生以上を対象に開催しました。講座ではテーマの決め方や本の探し方などを学んだ後、実際に図書館の本を使い、自分で考えたテーマについて調べてもらいました。予想（仮説）を立てる部分や本探しに苦戦する様子も見られましたが、参加者全員がテーマの答えを見つけることができ、講座をとおして調べ学習の楽しさを知ってもらえたようです。



講座の様子

〈弘前図書館〉7月11日

弘前ライブラリーシネマ

「すみっこぐらし 青い月夜のまほうのこ」を上映

子ども向けの映画会を開催しました。青い大



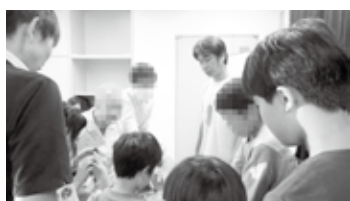
満月の夜に現れた魔法使いの兄弟とすみっこたちの交流、そして、それぞれの「夢」が描かれた作品です。子どもたちは、お話の世界に引き込まれるように最後まで集中して見入っていました。登場するキャラクターたちが仲間を思いやる姿に、会場全体が心温まる優しい空気に包まれました。

〈弘前図書館〉7月18日

弘前図書館ライブラリースクール

知っているようで知らないモグラの生態

国立科学博物館の川田伸一郎博士を講師に迎えて、2回目となるライブラリースクールを開催し、午前の部、午後の部あわせて75名の方が参加しました。午前の部では、モグラの種類や生態、世界のどこにどんなモグラが生息しているのかを、スライドや動画を使用してわかりやすく説明していただきました。



モグラの標本に興味津々！

午後には、川田先生が作ったモグラの標本を実際に触ったりして、子どもも大人も盛り上がりしました。



〈弘前図書館〉7月25日

夏休みおはなし会

夏にぴったり！こわいおはなし

今年の夏休みおはなし会は、読み聞かせボランティア「おはなしボックス」の皆さんが「こわいおはなし」をテーマに5つのおはなしを聞かせてくれ、当日は31名の参加がありました。絵本や紙芝居にエプロンシアターと、ちょっぴりこわいけど楽しいおはなしに、始まる前は緊張気味だった子どもたちも、最後は笑顔で「楽しかった！」と話してくれました。



夏休みおはなし会の様子

〈弘前図書館〉7月29日～7月31日

図書館のお仕事やってみ隊

1日図書館スタッフ体験



フィルムコートを貼ってみよう！

7月29日から31日の3日間、図書館のお仕事やってみ隊を開催しました。小学4年生から6年生まで17名が参加し、貸出や返却、本のフィルムコートがけ、レファレンスクイズなどを体験しました。子どもたちは図書館業務の意外な裏側や大変さを学び、グループで協力しながら一生懸命に取り組んでくれました。今回の体験を機に、図書館で働くことも将来の選択肢に加えてもらえたら嬉しいのです。

〈岩木図書館〉7月25日

自分だけの万華鏡を作ろう！

エコ工作でアップサイクルを体験



作った万華鏡をのぞき込む子どもたち

手作りの万華鏡イベントを開催しました。普段はゴミとして捨てられてしまうお菓子の空き箱とペットボトルの底を万華鏡の本体として再利用します。ビーズやプラバン、画用紙を本体に入れると、光の反射を利用した手作り万華鏡の完成です。身の回りの廃材もアイデア次第で作品に生まれ変わります。身近な廃材のアップサイクルを通じて、環境への理解を深めるきっかけになってほしいです。

〈こども絵本の森〉7月17日～8月19日

夏休みおはなしクイズラリー

きょうりゅうの森で大冒険！

今年のテーマは『あつまれきょうりゅうの森』。こども絵本の森の入口にある、大きく口を開けたティラノサウルスに吸い込まれるように、「クイズやってみたい！」とたくさん子どもたちが挑戦してくれました。段ボールでできた恐竜の骨の模型やトリケラトプスのツノの輪投げ、化石発掘コーナーなどもご用意。親子で楽しむ姿が多く見られました。



クイズラリーに熱心に取り組む参加者

〈相馬ライブラリー〉7月23日～8月31日

本のおたのしみくじ2026 in そうま

くじがみちびく本との出会い



読書通帳を選ぶ子どもたち

恒例の夏休み特別企画「本のおたのしみくじ」を開催しました。幼児から大人まで参加でき、くじを引いて本を借りてもらうというイベントで、今年も参加者には読書通帳を差し上げました。イベントが定着してきたのか、「毎年楽しみにしています」「今年も参加しにきました」「読書通帳を心待ちにしています」と嬉しい声が聞かれました。

〈相馬ライブラリー〉8月9日

さいたさいたおはなしの花 in 相馬

たのしい夏のおはなし会

夏休みの特別企画おはなし会を中央公民館相馬館の和室で開催しました。おはなしボランティアのみなさんが、手遊びを交えた絵本の読み聞かせをしてくれました。3家族17名の参加でとても賑やかなおはなし会になりました。手遊びや掛け声を求められる場面では、恥ずかしそうにしながらも、笑顔で参加する子どもたちの姿が印象的でした。



おはなし会の様子



初めての方も！使ってみよう新システム

予約編



昨年10月から、弘前市立図書館では図書館システムが変更になりました。多くの方にご利用いただけるよう、これから複数回に分けて新システムの使い方を説明していきます。今回は、資料の予約方法を解説いたします。

※ウェブ予約するには、利用者番号とパスワードを入力してログインする必要があります。

①目的の資料を予約かごに入れる

まずは、予約したい資料を検索し「予約かご」に入れます。資料の詳細画面を開き、「予約かごに入れる」を選択すると、予約かごに入れることができます。資料を予約かごに入れると、予約かごの中身が表示されます。続けて予約に進む場合は「予約する」を選択しましょう。まとめてほかの資料も予約を入れたい場合は、検索を続けて構いません。

画面上部の青い部分に、常に「予約かご」という文字が表示されています。予約したい資料を選び終わったら、いつでもその部分を選択すると予約かご画面に移動できます。

※予約かごに入れた時点では、まだ予約を入れたことにはなりません。②以降の手続きをする必要があります。

②予約画面に進む

予約したい資料を予約かごに全て入れ終えたら、「予約かご」を選択します。予約かご画面になりますので、「予約する」を選択します。かごの中に入れてある資料の中で、「今はまだ予約を入れなくてよい」と思う資料がある場合は、資料タイトルの上にある☒マークを外してください。

※予約できる冊数は6冊まで（うち視聴覚資料は2点まで）です。6冊を超える冊数にチェックが入っている場合は、以降の画面に進むことができません。

※雑誌は予約できません

③受取場所・連絡方法を決める

「予約する」を選択すると、受取場所・連絡方法を入力する画面になります。「選択してください」と書かれた箇所を押すと、受取場所であれば弘前市立図書館4館と、移動図書館車のステーションが表示されます。連絡方法であれば「Eメール」か「連絡不要」が表示されます。希望する受取場所・連絡方法をお選びください。選択を終えたら、「次に進む」を押してください。

※ウェブでの予約の際は、電話連絡は指定できません。

※頭文字が「B」の受取場所は、移動図書館車のステーションです。2週間に1度しか受取機会がありませんのでご注意ください。

④予約内容を確認する

入力を終えたら、予約内容の確認をします。予約資料や受取場所、連絡方法が間違っていないかを確認し、よければ「予約する」を押してください。押すと画面上部に「図書館で準備ができ次第ご連絡いたします」と表示された画面に変わります。これで資料の予約は完了しましたので、画面の指示に従って「予約完了」を押してください。

次のページで、予約方法を画像付きでまとめています。ぜひインターネットからの予約をマスターして、ご自宅でも弘前市立図書館のサービスを利用してみましょう！

このQRコードから、弘前市立図書館の蔵書検索に飛ぶことができます



図解！ウェブからの予約方法

①資料を検索し、予約かごに入れる

イン・ザ・メガチャーチ

予約数：79 貸出可能数：0 貸出件数：7

著者 鮎井 リョウノ著

出版社 [東京]：日経BP日本経済新聞出版
東京：日経BPマーケティング

2025年09月

【NDC1】913.6 【サイズ】20cm 【ページ数】444p
【価格】¥2,000 【ISBN10】4-8198-1210-4 【ISBN13】978-4-206-12104-5

「神がないこの世で人を導くには、“物語”を使うのが一番いいんですよ」
ファンタジー要素を多く含み、のめり込む、のめり込んでいる著者。三者三様の視点から、“物語”の妙味を多岐にわたる。「日本経済新聞」連載を単行本化する。

予約かごに入れる My本棚に追加する

内容一覧

予約かごに入れた直後の画面

詳細情報です。

選択したタイトルの詳細情報です。
行いたい処理をクリックしてください。

予約かご

予約かごに下記資料が入っています

予約する 選択したタイトルを予約かごから削除 予約かごをクリア

全選択 全解除

イン・ザ・メガチャーチ
In The Megachurch

区分：図書

著者：鮎井 リョウノ著

出版社：[東京]：日経BP日本経済新聞出版

出版年：2025年09月

取消

そのまま予約をする場合は
「予約する」を選択。③へ。

のちほどまとめて予約する
場合は、検索を続けた後に
「予約かご」を選択。②へ。

弘前市立図書館

予約かご

「予約かご」はここ！

②予約かごから予約画面に進む

予約かご

予約かごに下記資料が入っています

予約する 選択したタイトルを予約かごから削除 予約かごをクリア

全選択 全解除

イン・ザ・メガチャーチ
In The Megachurch

区分：図書

著者：鮎井 リョウノ著

出版社：[東京]：日経BP日本経済新聞出版

出版年：2025年09月

取消

図書

区分：図書

著者：鮎井 リョウノ著

出版社：東京：筑摩社

出版年：2025年11月

チェックをつけ外しすること
で、予約する資料を選ぶこと
ができます。
※6冊を超える冊数にチェ
ックが入っている場合は、次
の画面に進みません。

③受取場所・連絡方法を選択する

予約情報を入力します。

予約情報を入力して、次へ進んでください。

予約情報を入力してください。※受取場所で、該当文字に「B」とついている場所は、移動図書館車のステーションです。移動図書館車での受取を希望される方は、「B」がついている受取場所から選択してください。

タイトル

イン・ザ・メガチャーチ

区分

お名前

受取場所

選択して下さい

ご連絡方法

連絡不要

次に進む 予約をやめる

連絡不要

選択して下さい

E-Mail

連絡不要

弘前市立図書館
4 館

移動図書館車
ステーション

④予約内容を確認する

予約情報を確認してください。

予約情報に誤りがなければ、予約を確定してください。誤りがある場合は、前の画面に戻って再入力してください。

イン・ザ・メガチャーチ

区分

お名前

受取場所

弘前図書館

ご連絡方法

連絡不要

予約する 予約をやめる

予約内容に間違いが
なければ、「予約する」
を選択します。

図書館で準備ができ次第ご連絡いたします。

予約完了ボタンをクリックして、予約処理を終了してください。

お名前

受取場所

お名前

ご連絡方法

連絡不要

予約完了

予約完了！

E-Mail・連絡不要から
選択します。※電話は
選択できません。



第2回！ ライブラリースクールを開催しました！！



弘前図書館では2回目となるイベント「ライブラリースクール」を、7月18日（土）に行いました。国立科学博物館動物研究部脊椎動物研究グループ研究主幹であり、弘前大学理学部出身の川田伸一郎博士をお招きし、午前の部・午後の部に分けて、モグラの生態や標本、超危険生物に関するお話をしていただきました。

大好評のうちに終了したライブラリースクールの様子を、たくさんの写真で紹介していきます。

午前の部

モグラ博士が語る、モグラの生態



↑モグラの生態等について、分かりやすく、かつ面白く解説していただきました。

モグラの標本を手で触る→体験も！意外とふわふわ！?



→モグラの話に、真剣に耳を傾ける参加者の皆さん。



午後の部

標本バカが語る、標本を残すことの大切さと科博の役割



←「地球の宝を守る」という科博の活動や、未来のために標本を残す大切さ等を語ってくださいました。



↑哺乳類の標本の作り方を解説する川田博士。



←参加者からは積極的に質問が寄せられ、丁寧に答えてくださいました。

次回のライブラリースクールもお楽しみに！



図書館スタッフが
おすすめする

BOOK REVIEW この本が面白い!

弘前図書館スタッフおすすめ

『赤ずきん、 イソップ童話で死体と出会う。』

青柳碧人/著
双葉社
2025年刊



やけに頭の良い赤ずきんが、家に帰るまでに「うさぎとかめ」「アリとキリギリス」といった、イソップ童話を彷彿とさせる殺人事件に次々遭遇し、謎を解いていく童話×ミステリの連作短編。赤ずきんが謎を解くという変わったコンセプトのこのシリーズは、これで4作目となります。「赤ずきんが探偵……?」という疑問は一旦置いて、試しに読んでみてください。あつという間にこのシリーズにのめりこむこと間違いなしです。

弘前図書館スタッフおすすめ

『いとしのソフトクリーム130』

プロソフトクリーマー森川/著
主婦と生活社
2023年刊



著者であるプロソフトクリーマー森川さんが、世界と日本で食べ歩いた本数はなんと5000本越え、その中でも厳選した130本を紹介。ソフトクリームといっても、あなどるなかれ!こんなに種類があるのかと驚き、写真を見ているだけで、日本全国のソフトの食べ歩きの旅へ出かけたいくなりますよ。ちなみに私は、32番のミカド珈琲店のモカソフトが気に入りまりました。さて、あなたはどのソフトクリームがお好みですか?

岩木図書館スタッフおすすめ

『いっさいはん』

minchi/作・絵
岩崎書店
2016年刊



1歳半の子どもの予測不能で愛らしい「あるある」行動をユーモラスに描いた絵本です。子育てを終えた私も今開くと、当時の記憶が鮮やかに蘇り、「そうそう!こうだった!」と思わず笑ってしまいました。育児真っ只中の方には共感を、子供を卒業した方には温かく懐かしい思い出を届けてくれます。成長した子どもと一緒に読んで、自分もこうだったのかな。まだ若かった親はどうしていたのかな。」と想像したりしても面白いと思います。

弘前図書館スタッフおすすめ

『ダチョウはアホだが役に立つ』

塚本康浩/著
幻冬舎
2021年刊



ダチョウ研究の第一人者がおくる、ダチョウが持つ凄さとアホさをギュッと詰め込んだ科学エッセイです。ダチョウの高い身体能力や驚異の免疫力、それを医学に転用する研究とダチョウが持つ凄さが紹介される一方で、「家族の顔すらも覚ええない」「一羽が走り出すとわけもわからずみんな走り出す」など、アホすぎる側面も語られています。ダチョウと博士のドタバタエピソードがとてもコミカルで、ダチョウが可愛く思えてくる一冊です。

相馬ライブラリースタッフおすすめ

『ヤマ師』

深澤献/著
ダイヤモンド社
2025年刊



本書は裸一貫からアラビヤ石油創業者までのし上がったヤマ師(投機家)山下太郎の物語です。投機家といえど一か八かの賭けをして利益のみを追及するイメージが強いですが、彼は世の中の役に立つ金儲けを信条とし、晩年は敗戦国日本の復興のために挑戦続けます。明治から昭和の波乱の時期に、無一文と億万長者を繰り返しながら、お金や周りの陰口に振り回されることなく信念を貫き通した男の、生き様や不屈の開拓精神に胸が熱くなります。

こども絵本の森スタッフおすすめ

『「嫌な記憶」を忘れる心理学』

小林正法/著
西東社
2026年刊



過去の失敗や他人からの一言など、「嫌な記憶」は思い出すたびにネガティブな気持ちになり、なぜか繰り返し考えてしまうものです。本書では、「嫌な記憶」を忘れる方法や、「嫌な記憶」が忘れにくくなってしまいうNG行動などを、心理学の知見に基づいて解説しています。もしも「嫌な記憶」と距離を取ることができたら。そのテクニックが自分に合っていたのなら。これからの「嫌な記憶」との付き合い方が変わるかもしれません。



お知らせ・図書館イベント等の情報 9～11月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
弘前図書館 9月6日(日) 13時30分～15時	大人のための図書館見学	【対象】15歳以上 【定員】20名(先着順) 【申込】弘前図書館カウンターまたは電話で受付中 ※定員に達している場合はご了承ください。
弘前図書館 9月19日(土) 13時30分～15時	弘前図書館市民講座 「弘前が生んだ怪談作家 黒木あるじ-東北の怪を語る」	【対象】どなたでも 【定員】50名(先着順) 【講師】黒木あるじ氏(弘前市出身・怪談作家) 【内容】怪談作家になったきっかけや東北の怪についてお話していただきます。 【申込】弘前図書館カウンターまたは電話で受付中 ※定員に達したため受付終了しました。
弘前図書館 10月3日(土) 13時30分～16時	バリアフリー映画会 ※日本語字幕・音声ガイド入り	【上映作品】『異動辞令は音楽隊!』 【定員】50名(先着順) 【申込】9月7日(月) 9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 10月11日(日) 13時30分～16時	移動図書館車はとぶえ号 1日開放	【対象】どなたでも(申込不要) 【場所】弘前図書館東北電力側玄関前 【内容】はとぶえ号の見学、本の貸出など。
弘前図書館 10月24日(土) 9時30分～13時頃まで ※午前9時より東北電力側玄関にて整理券を配布	雑誌の無料配布	【対象】どなたでも(申込不要・先着順) 【内容】保存期間を過ぎた雑誌のバックナンバー約1,000冊を無料で配布。 【冊数】お一人様7冊まで(同タイトルは3冊まで)付録はお一人様1点まで ※お持ち帰り用の袋などをご持参ください。 ※事前の予約や置き置き、再入場はできません。 ※雑誌の古書店等への売却はご遠慮ください。
弘前図書館 10月31日(土) 13時30分～14時35分 (13時から開場、5分間の休憩含む)	小学生に贈るおはなし	【対象】小学生、幼児、おはなしに興味のある方 【定員】30名(先着順) 【語り手】読み聞かせボランティアの皆さん 【内容】ハロウィンをテーマにした読み聞かせ 【申込】9月26日(土) 9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 11月15日(日) 第1部 10時～12時 休憩 12時～12時30分 第2部 12時30分～13時30分	おはなしと読み聞かせ講習会 ～弘前図書館おはなしパートナー養成～	【対象】読み聞かせボランティアに興味のある方や読み聞かせの各種技法を仕事等で役立てたい方 【定員】10名(先着順) 【講師】JPIC読書アドバイザー 高嶋敬子さん 【内容】絵本の読み聞かせ、エプロンシアターの体験、ペープサートの製作、弘前市立図書館での読み聞かせボランティアの活動内容の紹介 【持ち物】絵本1冊、筆記用具、飲み物、軽食(希望者) 【申込】10月10日(土) 9時30分から、弘前図書館カウンターまたは電話で受付
弘前図書館 10月16日(金)～11月18日(水)	秋の読書週間 「こどもたちに読んでほしい本」	【場所】弘前図書館児童コーナー 【内容】「こどもたちに読んでほしい本」に推薦された絵本や児童書を、過去の方も含めて約80冊を展示・貸出します。
岩木図書館 10月17日(土)～11月15日(日)	秋の読書週間	【対象】どなたでも 【内容】果物カードにおすすめの本について記入していただき、展示・貸出します。
こども絵本の森 10月1日(木)～11月9日(月)	秋の読書週間	【対象】どなたでも
相馬ライブラリー 11月26日(木)～11月30日(月)	相馬地区文化祭特別企画 ライブラリーで謎解きゲーム	【対象】どなたでも(申込不要)

弘前図書館
開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎月第3木曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 32-3794

岩木図書館
開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎週月曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 82-1651

いづみ絵本の森
開館時間
10:00～18:00
休館日…毎月第3木曜日
蔵書点検期間
電話 35-0155

相馬ライブラリー
開館時間
9:30～17:00
休館日…毎週水曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 84-2316

発行：指定管理者 TRC・アップルウェブ・弘前ペンクラブ共同事業体

